

ればそこそこに使える。後でアメリカでは、糖尿病なんかで全く勃起しないと中に充填と言って、もう芯に入れちゃうんですね、もう犬と同じですね。もう骨を入れちゃうんですね。

で、シリコン入れればムリムリいつでももう硬く起った状態になっていますから、アメリカはもう相手してくれないともう三下り半、男はもらいますから。まあとにかく糖尿病であろうがなんであろうがとにかく役立つようにしろと言うのが文化ですから、まゝ日本はいいか、まゝうちの旦那もう疲れて、糖尿で役立たない、だからまゝいいや、お小遣いもらって私遊びに行く、ていうのが日本的な女性の文化ですね。まゝこれ、これから変わってきます。女性も、最近あの女の人も旦那連れて婦人科へ行くそうですから、まゝ泌尿器科は行かないけど。女性は婦人科へ行き慣れていますから、この人に薬やってくれと。これは結構あるんですね。町へ行くとそのうち皆さんも連れて行かれるかもしれません。これは町へ行くとですね、三条田舎だからどこへ動いたかすぐばれちゃうからなかなか上手くない所があります。

じゃバイアグラはどういう所から出てきたんだということでさっきお話ししたように、これ実は心臓の薬なんですね。心臓の薬です。ですからいろいろ薬を買い集める時に、心筋梗塞、心臓の血の巡りを良くしようと、そういう薬が何千種類も試される訳で、そういう中で間違えた薬なんですね。しくじった薬なんです。ですから心臓の血の巡りは増えなかったんです。でも少し効くんですね。だから心臓の薬と一緒に飲むとちょっとヤバイと言うのは実はそこに出てくる訳で、心臓のこの冠動脈という所の血の巡りを良くしようと思って開発した。しかしそれは失敗した。それはやっぱり頭のいい人はいっぱいいて、そう言うのをやったらどうも下がったと。それはこの薬は他に使えるんじゃないかと言うので選んで選んでいってこのEDに効くようにしたと。後、でもう一つ実は心臓の薬でしくじった薬が泌尿器科で使われるハルナールという薬なんです。排尿障害です。あるいは尿道の抵抗、おしこの三つの抵抗と血管の抵抗と血管の抵抗を下げるつもりで造った薬が尿道の抵抗を下げた。まゝ人の体いろいろこうリセプターとなってちょっと違うといろんな効き方するんです。尿道の抵抗下げるとしょんべんが楽に出るようなもの、あれも発想の転換で、心臓の血流上げたらしょんべんたれたと頭のいい人は別にこれに使えるんじゃないかと。じゃ心臓やめた。じゃ排尿障害に使おうと。これは山之内という会社が画期的に当たって会社がもうもう一回起きたと。もうまさにもう一回勃起したと言うような上手く言ったと。こういうことがあるのです。ですから発想の転換はしくじった中から、ごみの中に良いものがいっぱいあると言うのがこの2つ目のファイザー社はこの一代だけで年間数億粒、億という単位でいますから、アメリカバイアは安いですが、たとえ日本と同じで、1200円で売れば1200億売り上げがあって、世界をマーケットにしますからばら儲けです。

まゝそういう発想の転換すれば良いようなのが出てくる。それからバイアグラの前と言うのはなかったんですね。この理屈があってこの血管を広げると言うのがなかったんだと言うことでまゝ理屈はまた後でもうちょっとお話しするんですけど、とにかく1998年にアメリカで認可された薬です。日本では1年遅れなんですね。それでいろいろな規格があって25、50、100、200と、こうゆうのがあって日本人では、50ミリと言うのをそこそこにやると、ちょうどいいように勃起が上手くいくということがわかって、それが日本でまゝ販売されているということです。

後でもう一回薬のことにについて説明するんですけど、疫学と言って、本当にその日本で世界的にこういうものを、EDってどの位の人が要望があるのか。実はこれ暗闇の中で全くわかりませんで、糖尿病の先回の講演の卓話をさっきちょっと見たんですけど、3000万と言うてますけど、ウソです。あの診断基準を下げればいくらでも患者さん増えるんですね。診断基準コレステロールもそうです。ですからあんまり医者言うこと信じない方がいいです。糖尿病3000万人、そんな役立たなくなつて90になって糖尿病で死んでもいいんだからと、考え方からすれば病気じゃないんです

ね。そんなことですぐ病人を増やします。

私は医療産業、産業の間違いだと思っています。産業なんですね、基準下げれば病人は、山ほど増えますから、まゝそこそこに生きている人を「お前病氣」と言う必要はない訳で、今男性70の人が後で平均寿命10年弱、10年ちょっとです。80の人がまゝ6年位しか生きませんから、やたら病氣増やして手術してもしょうがないんで、病氣かどうか本当は本人がやっぱり感じる所、生活の今の生活の質がどうか。5年後、10年後を見据えてどうか、そういうことを思っていないで医者へ行く人は金の無駄と時間の無駄です。やっぱりいろいろなことをしたら5年先、今瞬間を思うもの、5年先、10年先、20年先健康もないです。事業もそうでしょうけど、20年経った企業で天下った会社はないはずで。でもみんな先行き変わってうんぬんと言っている訳ですから、この病氣もそういうことですね。やたら患者増やす必要ないんですけど、でも糖尿病3000万を1000万としてもですね、約5%の方が今治療を受けているそうです。実は糖尿病何千万うんぬんじゃなくて、現在現実問題として糖尿病で医者にかかっているんですね。かかっている人に話を聞くんですよ。医者はですね糖尿病の方を診るとこれ必ず腎不全になっていずれ透析になってうまくねえぞと、そうなって死ぬぞ、そういうことを医者はまず思う訳で、いずれは目が見えなくなって網膜症になるぞと、いずれ手がビリビリになって、こういうのは三大糖尿病の合併症ですねと医者はそう思う訳です。でも患者さんは、今何も困っていないですね。目は見える、おらしょんべん出るし、蛋白というものの見なきゃわからない。手ビリビリしない。10人聞くと3人までが上手くない、こうなるんですね。

ですから話を正しく聞けば、今言ったEDというヤツは実はあの今受診している糖尿病の方で、話を聞けばそんないい方法があるならばおいらもう一度やってみたいと言う方が実際にいるそうです。そういう方のものを、これ寝た子を起こすのがいいかどうかそれはわかりません。けれどもそういう要望が実際上手に聞けば、上手に、何が上手かわからないですけど、内科の糖尿病でEDに興味を持った人、そういう人を掘り起こして患者さんにしちゃう訳で。でも、そこでのニーズと供給が合えば一定の商取引は成立する訳ですから、これはいいことでありますし、そういう要望があると、現実に50万、300万位の人がこの治療を受ければやっぱりいい生活ができる。

で、日本のこの政府の考え方、日本の医療の考え方は、やっぱりこれ夫婦仲良くこれが基準なんですね。ですからこれ実は奥さんいます、いや10年前に死んだんならまだいいんですけど、いるよと言って、この薬どこで使うってウソ言って使う人たまにいますよね、これちょっと何が文化かわからないですけど、ちょっと問題がある。今のところはですねやっぱり後で出てくるんですけど、夫婦が仲良く、要するにパートナーが固定したパートナーが仲良く使えるようにと言うのが今のところ原則ですので、これきちんと入れておいてください。必ず夫婦仲良くして薬を使うんだと言わないと無くなります。

次はですね、後で血圧とか糖尿病。何でか糖尿病の柔軟性の問題はですね、糖尿病はですね血の巡りそのものが悪いんです。催淫剤飲んでも治らないんですね。だから古典的な漢方薬の類も実は効かないと思います。糖尿病の類は高血圧に伴う、そこそこの血流障害は血流さえ増してやって治療すれば、実は糖尿でさっき言った医者に糖尿病としてかかっている合併症としてEDがある方にこういう風な薬をおあげすると。いいものをやれば最初50%と言ったんですけど7・8割の方が十分役に起つほど効くということが言われている。実際効くんですね、よくなるということ。ただ高血圧、糖尿病があるといういろいろな合併症がありますから、そういうものに対してじゃあ本当にいいのが実は俺2〜3年使ってないんだけどいい薬があるから使ってみたい。それはいいんですけど、性交ってかなりのエネルギーを消費するんですよ、エネルギーを。そうすると2〜3年休んだ方が、まゝゴルフ場走って回って動ける人はいいいでしょう。そうでない方もいらっしゃいます